



平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年10月31日

上場会社名 神東塗料株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4615 URL <http://www.shintopaint.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高沢 聡
 問合せ先責任者 (役職名) 企画・経理室部長 (氏名) 青山 忠嗣 (TEL) 06-6429-6264
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	11,088	1.2	314	△16.4	361	△27.8	△534	—
30年3月期第2四半期	10,953	3.0	375	△17.4	500	17.7	304	59.9

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 △684百万円(—%) 30年3月期第2四半期 333百万円(580.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	△17.26	—
30年3月期第2四半期	9.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第2四半期	36,147	16,816	44.5	519.25
30年3月期	36,850	17,680	46.0	547.15

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 16,084百万円 30年3月期 16,949百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
31年3月期	—	0.00			
31年3月期(予想)			—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,300	1.4	530	△36.5	650	△40.4	△350	—	△11.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	31年3月期2Q	31,000,000株	30年3月期	31,000,000株
② 期末自己株式数	31年3月期2Q	22,861株	30年3月期	22,857株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	31年3月期2Q	30,977,141株	30年3月期2Q	30,977,276株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、国内における個人消費の伸びは引き続き緩慢であり、また米中貿易摩擦の影響が懸念されたものの、企業部門における生産活動が増加基調にあり、緩やかながらも持ち直しの動きがみられました。

当社グループにおきましては、こうした経済状況の中で新製品の開発等による積極的な販売活動及びアジア市場での海外事業のさらなる展開とともに、コスト競争力の一層の向上を目指して取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は11,088百万円（前年同四半期比1.2%増）となりました。損益面では、営業利益は314百万円（前年同四半期比16.4%減）、経常利益は361百万円（前年同四半期比27.8%減）となりました。また、当第2四半期連結累計期間において、インドネシア子会社における固定資産の減損損失720百万円を特別損失に計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純損失は534百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益304百万円）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

(塗料事業)

アルミ電着塗料分野は、輸出で回復の動きが見られるものの、昨年に引き続き国内戸建住宅着工の低迷により主要ユーザー向け出荷が低調となり、売上高は減少いたしました。

工業用電着塗料分野は、配電盤、農機向け出荷が堅調に推移しましたが、住宅建材メーカー向け出荷が低調に推移したため、売上高は減少いたしました。

粉体塗料分野は、主力の鋼製家具、家電、電気機器メーカー向け出荷が引き続き堅調に推移したため、売上高は増加いたしました。

工業用塗料分野は、主力の建設機械、工作機械、形鋼、ゴルフボール向け出荷がいずれも堅調に推移したため、売上高は増加いたしました。

建築塗料分野は、これまで減収がつづいていた塗料販売において下げ止まりの兆しがみられるものの、前年度において発生した工事売上の前倒し受注が発生しなかったため、売上高は減少いたしました。

防食塗料分野は、主力の新設橋梁物件の出荷が好調に推移したことに加え、民間プラントのメンテナンス向け出荷も堅調に推移したため、売上高は増加いたしました。

道路施設用塗料分野は、豪雨等の自然災害が重なり、舗装工事が縮小したため、売上高は減少いたしました。

軌道材料製品分野は、道床安定剤、可変パッド樹脂の出荷が引き続き堅調に推移した他、スラブ補修材の出荷が回復に転じたため、売上高は増加いたしました。

自動車用塗料分野は、昨年好調であった海外向け出荷が減少に転じたものの、国内向け出荷は堅調に推移したため、売上高はほぼ前年並みとなりました。

この結果、塗料事業の売上高は10,326百万円（前年同四半期比1.2%増）となりましたが、原材料価格の高騰による売上原価の増加により、経常利益は368百万円（前年同四半期比24.9%減）となりました。

(化成品事業)

受託生産している化成品事業の売上高は761百万円（前年同四半期比1.9%増）、経常損失は6百万円（前年同四半期は経常利益9百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ現金及び預金が514百万円増加し、有形固定資産が953百万円、受取手形及び売掛金が223百万円減少したこと等により、36,147百万円（前連結会計年度末比702百万円減）となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ支払手形及び買掛金が277百万円増加し、未払法人税等が54百万円、短期借入金が42百万円減少したこと等により、19,330百万円（前連結会計年度末比160百万円増）となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、減損損失720百万円の影響により、前連結会計年度末に比べ利益剰余金が689百万円、為替換算調整勘定が154百万円減少したこと等により、16,816百万円（前連結会計年度末比863百万円減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期(平成30年4月1日～平成31年3月31日)の連結業績予想につきましては、平成30年10月30日に公表した業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,158	3,672
受取手形及び売掛金	7,893	7,669
商品及び製品	1,772	1,819
原材料及び貯蔵品	603	643
その他	273	214
貸倒引当金	△11	△12
流動資産合計	13,690	14,006
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,641	2,195
機械装置及び運搬具（純額）	1,451	982
土地	15,811	15,801
その他（純額）	356	328
有形固定資産合計	20,261	19,308
無形固定資産	267	329
投資その他の資産		
投資有価証券	1,860	1,749
その他	773	754
貸倒引当金	△2	△0
投資その他の資産合計	2,631	2,502
固定資産合計	23,160	22,140
資産合計	36,850	36,147

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,008	7,285
短期借入金	3,109	3,066
未払法人税等	183	129
賞与引当金	264	263
役員賞与引当金	13	7
その他	864	829
流動負債合計	11,443	11,581
固定負債		
長期借入金	1,619	1,594
再評価に係る繰延税金負債	3,910	3,910
役員退職慰労引当金	7	8
退職給付に係る負債	1,539	1,598
その他	649	636
固定負債合計	7,726	7,748
負債合計	19,170	19,330
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,255	2,255
資本剰余金	585	585
利益剰余金	5,924	5,234
自己株式	△4	△4
株主資本合計	8,760	8,070
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	145	124
土地再評価差額金	7,929	7,929
為替換算調整勘定	92	△61
退職給付に係る調整累計額	21	21
その他の包括利益累計額合計	8,189	8,014
非支配株主持分	730	731
純資産合計	17,680	16,816
負債純資産合計	36,850	36,147

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	10,953	11,088
売上原価	8,681	8,898
売上総利益	2,271	2,190
販売費及び一般管理費		
発送費	284	288
広告宣伝費及び販売促進費	43	51
従業員給料及び手当	493	477
賞与引当金繰入額	121	121
退職給付費用	38	35
減価償却費	60	63
試験研究費	116	105
その他	739	732
販売費及び一般管理費合計	1,896	1,876
営業利益	375	314
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	15	17
受取賃貸料	13	13
持分法による投資利益	96	25
その他	5	4
営業外収益合計	132	61
営業外費用		
支払利息	4	4
為替差損	0	0
支払補償費	1	8
その他	0	0
営業外費用合計	6	13
経常利益	500	361
特別損失		
固定資産除却損	6	2
減損損失	—	720
特別損失合計	6	722
税金等調整前四半期純利益	494	△360
法人税等	157	135
四半期純利益	336	△496
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	304	△534
非支配株主に帰属する四半期純利益	31	38

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	62	△31
為替換算調整勘定	△67	△127
退職給付に係る調整額	0	0
持分法適用会社に対する持分相当額	1	△29
その他の包括利益合計	△3	△187
四半期包括利益	333	△684
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	283	△709
非支配株主に係る四半期包括利益	49	25

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純損益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	塗料事業	化成品事業	計	
売上高	10,205	747	10,953	10,953
セグメント利益	491	9	500	500

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	500
四半期連結損益及び包括利益計算書の経常利益	500

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	塗料事業	化成品事業	計	
売上高	10,326	761	11,088	11,088
セグメント利益	368	△6	361	361

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	361
四半期連結損益及び包括利益計算書の経常利益	361

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

塗料事業セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。

なお、減損損失の計上額は当第2四半期連結累計期間において、720百万円であります。